

院内発症の虚血性脳卒中に対する 血栓回収療法の予後規定因子の検討

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 8 月 6 日から 2019 年 9 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

近年虚血性脳卒中に対する血栓回収療法は、その有用性が確立され広く普及してきています。一方で、院内発症の症例も一定数をしめ、その治療成績向上も積極的に取り組むべき課題のひとつとなっていますが、その実情に関してはまだ十分にはわかっていません。そこで、当施設で院内発症の虚血性脳卒中に対し血栓回収療法を施行した症例を対象にし、その転帰に関連する因子の検討を行います。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2016 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の間に、血栓回収療法を施行した院内発症の虚血性脳卒中患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、入院診療科、入院病名、脳卒中発症前の治療内容、脳卒中発症から治療までの時間経過と内容、発症時および治療後の症状などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野 武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申

し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 担当者 小倉 健紀
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）